

「牧畜論と東アジア研究の視座」

2021年4月11日 10:00 - 12:00

Zoomによるオンライン形式

ミーティングID: 981 0147 9515
パスコード: 977605



帯広畜産大学

平田 昌弘 教授

中国文明の形成において、西方域からの牧畜の影響による文化・生業融合が指摘されている。今回の話題提供では、牧畜論の再考、西アジアの牧畜の事例、牧畜の根幹：乳文化を通じて、東アジア・二里頭文化研究について牧畜の視点から意見交換してみたい。牧畜とは単なる家畜飼養の文化を指してはいない、生業（ライフスタイル）を意味する。家畜群、搾乳・乳利用、草食反芻動物、粗放的家畜管理、放牧による草地依存が重要な要素となる。牧畜の存在を議論するには、考古学的遺物と共に、古生態環境、集落周辺の土地利用、本村と出先地の関係性、季節移動性、農耕からの食料供給、民族集団の衝突についても考察する必要がある。二里頭文化について、これらの存在や環境利用が考古学的に明らかにされるのか。もし、これらの文化要素が不在ならば何故に必要としなかったのか、もしくは、これらの文化要素の一部が導入されていたならば二里頭の生業における位置を問うところに、東アジアにおける文明論の特徴解明に寄与する視座がある。

